

**サノフィが支援する日本糖尿病学会賞
「女性研究者賞」第5回受賞者が決定**
- 女性医師の糖尿病研究業績を表彰 -

サノフィ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:岩屋孝彦、以下「サノフィ」)では 2019 年より糖尿病研究における女性医師の業績を表彰する、日本糖尿病学会賞「女性研究者賞」を支援しており、第5回目の受賞者が決定しましたので、お知らせいたします。

授与式は、一般社団法人 日本糖尿病学会(理事長:植木 浩二郎、所在地:東京都文京区、以下「日本糖尿病学会」)が開催した、第66回日本糖尿病学会年次学術集会(5月11日から5月13日)にて、5月11日に行われました。受賞者は以下の方です。

受賞者(所属)	堀越 桃子 (理化学研究所 IMS 生命医科学研究センター/東京山手メディカルセンター 糖尿病内分泌科)
研究業績	全ゲノム関連解析による出生時体重と2型糖尿病・生活習慣病の遺伝的関連の探索



右: 日本糖尿病学会 植木浩二郎理事長

中心: 理化学研究所 IMS 生命医科学研究センター/東京山手メディカルセンター 糖尿病内分泌科堀越 桃子先生

左: サノフィ ジェネラルメディスンビジネスユニット ジェネラルマネジャー サビーナ・スタインケルナー

日本糖尿病学会の会員医師に占める女性医師の割合は約 35%と、国内の医師総数に占める女性医師の割合(約 22%)を超えています¹。サノフィはダイバーシティを推進し女性の活躍支援に積極的に取り組んでいることから、さらなる女性研究者の活躍を目指した本賞を 2019 年より支援しています。受賞者は毎年 1 名、顕著な糖尿病研究業績をあげた会員の女性医師から選ばれ、盾と奨励金 50 万円が授与されます。

日本糖尿病学会の植木浩二郎理事長は「堀越先生、この度の女性研究者賞受賞大変おめでとうございます。これまでの糖尿病や肥満の遺伝素因に関する先生の多大なご貢献の賜とと思います。糖尿病学のリーダーとしての今後の益々のご活躍を祈念しています。」と祝辞を述べています。

受賞された堀越先生は、「糖尿病学会植木浩二郎理事長、この度は女性研究者賞という身に余る賞を授与していただき、誠にありがとうございます。これまで指導してくださった先生方、そして共同研究者の皆の力で得られた結果だと思っています。皆のチームワークの成果を代表して謹んでお受け致し、今後に役立てて参りたいと存じます。どうもありがとうございました。」と抱負を述べられました。

サノフィのジェネラルメディクスビジネスユニット ジェネラルマネジャー サビーナ・スタインケルナーは次のように述べています。

「サノフィでは、患者さんや顧客ニーズにお応えし、我々が生活する社会の多様性を反映できるよう努めています。糖尿病とともに生きる人々にヘルスケアソリューションを提供する、女性研究者の業績を表彰する本賞を支援できることを光栄に思います」

サノフィについて

サノフィは、人々の暮らしをより良くするため、科学のもたらす奇跡を追求する、というゆるぎない使命を原動力に進み続ける革新的でグローバルなヘルスケア企業です。約 100 カ国の社員は、医療を変革し、不可能を可能に変えるため、日々研鑽に努めています。私たちは、社会的責任と持続可能性を企業の本質とし、画期的な医薬品や生命を守るワクチンを開発し、世界何百万もの人々に届けていきます。

日本法人であるサノフィ株式会社の詳細は、<http://www.sanofi.co.jp> をご参照ください。